

高年齢者活躍企業コンテスト

徳島ロイヤル病院(小松島) 特別賞

高年齢者がいきいきと働くことができる職場づくりの取り組みを募集する「高年齢者活躍企業コンテスト」で、小松島市中田町の徳島ロイヤル病院が、2025年度の独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構理事長表彰の特別賞を受賞した。県内事業所の受賞は11年ぶり。

コンテストは、高年齢者が能力を十分に発揮して働き続けられる職場づくりに関するアイデアの普及が目的で、全国の事業所や団体から62編の応募があった。

徳島ロイヤル病院は、負担の大きい職務内容や給与水準の低さなどから、新たな人材が集まらず離職者が増える状況を受け、従来から働く高齢職員の雇用維持と活躍推進を進める取り組みについて応募した。

同病院では2019年3月、定年を65歳に延長し、定年後も希望すれば70歳まで再雇用できるような制度を改正した。さらに、70歳以降も働く意思がある職員は1年単位で契約を更新できる再々雇用制度を導入。個々の体調や生活環境に応じて働き方を柔軟に選べるようにしたことで、高年齢者の就業意欲を支え、人材の安定確保につながりつつあるという。

業務負担の軽減にも力を入れる。介助時の身体的負担を減らすため、ドーム型シャワー入浴装置を導入し、入浴介助にかかる労力を大幅に抑えた。睡眠状態や体調管理を見守る介護ロボットも取り入れ、巡回業務の効率化にもつなげている。

制度面だけでなく、
(瀬尾叶望)



特別賞を受賞した徳島ロイヤル病院の榎田病院長（左）と大西事務長。小松島市中田町の徳島ロイヤル病院

柔軟な雇用や負担減評価